

# 市長からの

## たより

vol.1

このコーナーで施策や考えを発信します

今月号から、表紙も含めて「広報せき」を刷新しました。これまでは、行政からのお知らせがほとんどでした。巻頭記事では、関市で活動している多くの団体や市民の皆さんにスポットライトを当てていきます。目立たないところで、自らの貴重な時間を割いて、地域を想い、将来を見据えて活動をいただいている皆さんこそ、この関市を支えていると思うからです。

また、今回から市長としての考えを直接お伝えするため、「市長からのたより」という枠をいただき、私自身が書いていきます。

平成25年度の予算が、市議会において慎重な審議をいただき決定しました。皆さんからお預かりした貴重な税金の使い道ですので、多くの方に知っていただければ、昨年度から広報の別冊として予

算の概要や主要事業を分かりやすくまとめた冊子を配布しています。

今年度は、重点施策として「経済」「教育」「文化・スポーツ」の3つを大きな柱として予算を組みました。

特に、「文化・スポーツ」では、市民の皆さんお一人につき、「1学習、1スポーツ、1ボランティア」を合言葉に、各家庭にガイドブックを配布するなど、お声かけをしていくつもりです。

「日本一しあわせなまち」を目指し、今年度も先頭に立って邁進する決意です。しかし、行政だけでは、それは実現できません。皆さんと一緒に考え、進んでいきたいと思えます。ご協力をお願いいたします。



1学習、1スポーツ、1ボランティア

2月16日～3月15日にあった  
市内の話題を中心にご紹介します。

# あんなこと、 こんなこと



関市イメージキャラクター  
「関\*はもみん」



## 「信長の野望」とタイアップ

関鍛冶伝承館を会場に、戦国武将が愛用した日本刀などを紹介する「信長の野望『日本刀の世界展』」が5月6日まで開催中です。この企画展は、同館の開館10周年を記念し、人気ゲーム「信長の野望」発売30周年とタイアップして、ゲームに登場する武将のパネルとともに、室町・桃山時代を中心とする関市の刀剣類を展示しています。展示作品は、織田信長が重宝した「若狭守氏房」や関の名工である二代兼元や兼定の刀など39点。ぜひご来場ください。



## 日本の行事で楽しいひととき

関市国際交流協会主催の「スポーツ&もちつき交流会」が3月3日、わかくさ・プラザなどで開催され、市内で働く在住外国人たちが参加して、ドッジボールともちつきを通して楽しく交流しました。ドッジボール初体験の参加者も、片言の日本語でコミュニケーションをとりながら、さわやかな汗を流しました。また、日本の伝統である「もちつき」を体験。大きな杵を振り上げて餅をつくのを楽しみました。

## 中学生 高校授業に興味津々

中高交流教育の一環で、関商工高校の教員が2月20日、旭ヶ丘中学校で出前授業を行い、同中学校2年生が高校の授業を体験しました。普通科のほかに商業科（マルチメディア・秘書）、工業科（電子機械・機械）などの授業を実施。建設工学の授業では、速乾性セメントを使った貯金箱の製作に挑戦。土木や建築で使用される材料について学習しました。関商工高校の教育への理解と中学生の進路意識を高めました。



## 大好きな自然を守るために

武儀東・西小学校4年生が3月12日、下之保の日龍峰寺（高澤観音）から多良木集落へ向かう参道に、カエデの苗木約40本を植樹しました。周辺の環境美化に取り組む「高澤保健保安林を守る会」などが毎年実施し、児童が参加しています。児童一人一人が苗木の根元に土をかぶせた後、支柱にひもで丁寧にしばっていきましました。児童らは「大きくなったら成長したカエデをまた見に来たい」と話していました。

## いつも支えてくれてありがとう

倉知小学校で3月7日、学校ボランティアの会員に日ごろの見守りなどに対しお礼の気持ちを伝える「ボランティア感謝の会」が開かれ、全校児童が合唱などを披露しました。学校ボランティアは約100人の登録があり、登下校の見守りをはじめ、図書館での本の読み聞かせや修理、ベルマークの回収などをされています。会では、歌のほかに手づくりクッキーや育てた大豆などをプレゼントして、感謝の心を伝えました。



## 忘れないよ 日吉ヶ丘保育園

本年3月末で閉園した日吉ヶ丘保育園。閉園にあたり最後の思い出を作ろうと3月9日、園と父母の会で「ありがとうの会」が開かれました。在園児・卒園児、その保護者らが集まって式典のほか人形劇やピエロのショー、合唱など楽しいイベントで42年の歴史を振り返りました。この園からは42期生、646人が巣立っていきました。「大きくなってもこの保育園のことは忘れないよ」と全員で感謝の気持ちを伝えました。